



ひろよしあつこ
広吉敦子の

NET 目黒・生活者ネットワーク

おひさまレポート

OHISAMA REPORT 2017. 8. 1 No. 101

発行責任者/広吉敦子 〒152-0003 目黒区碑文谷6-1-19 アネックスST 1階 TEL/FAX 03-3791-8069 <http://meguro.seikatsusha.net>

広吉敦子の議会報告

第2回定例会



「ミニミニトイづくりからまちを変えていく

田黒区は昨年地域政策調査室を設置し、長年懸案だった「ミニミニトイ施策」を進めています。新たな地域課題に対応するために、住区センターの役割を見直す必要があります。

小学校区にある住区センターを「ミニミニトイ」の拠点として活性化するために、住区住民会議を中心に様々な世代の活動団体との連携を促し、区民と共に進めていくことが有効です。地域の課題を解決し、施策化に向けてボトムアップの体制を作り出すことで、市民自治が進むと考えます。

そこで今回は、「ミニミニトイづくりを中心とした、ハケ岳林間学園の活用、羽田増便情報公開の3点について質問しました。



「ミニミニトイ施策について

地区センター機能の充実をはかれ!

目黒区は現在、「ミニミニトイ形成の進め方

に関する素案を作成中ですが、「ミニミニトイづくりを進めるには、全局的に取り組まなければなりません。地区サービス事務所と地域包括支援センターなどの地区センター内の連携を強化し、地域の情報が集まるよう体制を整えることが必要だと指摘したところ、区は地区サービス事務所においても区民との情報共有を図り、地域包括支援センターとも連携強化していくとの考えを



住区センターを使って脳トレや健康体操等を行っているミニディヤーサロン。社会福祉協議会HPより

示しました。府内の連携強化も含め、今後の取り組み状況を注視していきます。

「住区センターをアピールせよ!」

目黒区は4年間でおおよそ住民の3分

の1が入れ替わるといわれ、公の施設であ

る住区センター

を知らない人が

多くいます。しか

し、ミニトイやサ

ロンなど、市民の

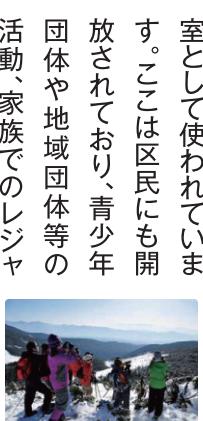
主体的な活動が

行われている住

八ヶ岳林間学園について

八ヶ岳の林間学園は皆が使える施設です!

山梨県北杜市にある目黒区の施設「八ヶ岳林間学園」は小中学生の自然宿泊体験教室として使われています。ここは区民にも開放されており、青少年団体や地域団体等の活動、家族でのレジャーなどを利用することができます。特に冬期は空きがあるため、大人の生涯学習や大学のゼミ合宿等が使用しやすいようにサポート体制を整え、恵まれた自然環境の中に



ノルディックウォーキングも楽しめる八ヶ岳。八ヶ岳観光協会HPより抜粋

一などで利用することができます。特に冬期は空きがあるため、大人の生涯学習や大学のゼミ合宿等が使用しやすいようにサポート体制を整え、恵まれた自然環境の中に

住区住民会議が様々な活動の要となる

超高齢社会の中で一人暮らしや高齢者のみの世帯の増加、子育て世代の孤立化、世代間の分断等と現代の問題が明らかになっています。住区住民会議が中心となって、高齢者や子育て世代若者たち自ら主体的に取り組んでいる様々な活動を繋げ、ネットワークを作っていくことが重要です。



学生と社会人のボランティアによる学習支援は週2回実施されています。

羽田増便計画における問題について

羽田増便による目黒への影響は?

国は国際協力強化、訪日外国人の増加、全国地域活性化を理由に、2020年の東京オリンピックまでに羽田空港の増便を計画しています。最も心配されるのは、目黒清掃工場上空で車輪を出した時の落下物事故です。目黒清掃工場には薬剤が備えられており、万が一のことを想定し、安全対策を含めた情報公開が必要です。目黒区は安全対策について、東京二十三区清掃一部事務組合に要望すると答弁しました。あらゆる危険性を想定することはリスク回避としても大切であるため、目黒区としてもしっかりと初期対応を考えておくべきです。

べきです。

施設の空室状況が一目で分かる工夫や耳より情報を入れるなど、HPを充実させること、申し込み方法は電話だけでなくメールでも可能にすることなど、現状に合わせた方法を取り入れるべきです。この2点は経費をかけずに実施できることから、区は検討を行い、今後利用しやすいようにHPが編集される予定となりました。